

## 第 40 回全国都市緑化仙台フェアについて

都市緑化の意識高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図るとともに、緑豊かな潤いのある都市づくりを目的として、令和 5 年 4 月 26 日から 6 月 18 日にかけて、第 40 回全国都市緑化仙台フェア「未来の杜せんだい 2023～Feel green!」を開催した。

### 1 会場の様子

メイン会場、まちなかエリア会場、東部エリア会場は、連日多くの来場者で賑わい、目標である 100 万人を上回る 115 万人の来場があった。



ウエルカムガーデン前



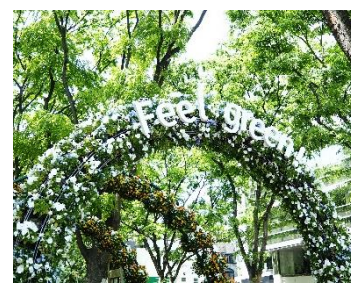
大花壇「はなばた飾り」



杜のリビングガーデン



広瀬川せせらぎ水路



定禅寺通フェアアーチ



農業園芸センター

### 2 主な行事等

#### ①ウエルカムセレモニー・開会式

フェア開幕日である 4 月 26 日、仙臺緑彩館前で一般来場者向けにウエルカムセレモニーを行った。また、仙台フェア実行委員会をはじめ都市緑化や造園関係団体等の関係者約 300 名の参加のもと、仙台国際センター会議棟にて開会式を実施した。



## ②令和5年度全国都市緑化祭

緑化フェアの中心的行事である「全国都市緑化祭」の記念式典を、佳子内親王殿下ご臨席のもと、5月24日に仙台国際センター展示棟にて開催した。

メイン会場である青葉山公園追廻地区をご視察いただいたほか、記念植樹も行われヤエベニシダレザクラが植えられた。

## ③庭園出展コンテスト

造園関係の企業や団体による匠の技や多彩なアイデアが光る49作品の出展があった。うち7作品が金賞となり、国土交通大臣賞などの関連表彰を行った。



## ④屋内出展・展示

仙臺緑彩館においては、「杜の都・仙台」の市民協働によるみどりのまちづくりに関するパネル展示や、市民や愛好家による花みどりに関する出展等が行われた。

東部エリア会場においては、震災の記憶の継承やみどりの復興に関する展示も行われた。



## 3 仙台フェア開催の成果とレガシーについて

仙台市民はもとより他地域の方々も含め115万人もの来場者に、都心部でありながらみどり豊かな青葉山や広瀬川の魅力を体感していただけたことは、「杜の都・仙台」の都市ブランドの向上に大きく寄与したものと考えます。

仙台フェアの広大な花壇や庭園の整備・維持管理にあたり、造園・花き関係の多くの団体・企業のご協力をいただいたほか、作品出展・ワークショップ、ボランティアなどでも、多くの市民参画のもとフェアが運営された。

今回のフェア開催を契機として、本市が今後ともみどり豊かなまちづくりを進めるにあたり、こうした民間事業者や市民団体等との連携体制をフェアレガシーとして継続できるよう、「市民協働プラットフォーム」の構築を進める予定である。

